

清水　大粋 議員

ごみ減量施策の効果検証と資源循環の推進について

滋賀県が実施するサーキュラーエコノミー実証事業に参加する考えはあるか

問 **滋賀県が実施するサーキュラーエコノミー実証事業（リペアチャレンジ）に参加する考えはあるか。**

答 **当事業への参加を予定しているところです**

環境部長

リペアチャレンジは循環経済の新しいかたちを検証する事業であり、検証結果は今後の市の施策においても大変参考となることから、当事業への参加を予定しているところです。

問 **作り替えたら面白そうなもの、売れそうなものも含めて、広くとらえてリペアチャレンジに参加してみてはどうか。**

答 **環境部長**

どのようなものが対象となるのかを明確にするとともに、対象となる廃家具の回収機会の確保についても、県と連絡を密に図りながら、しっかりと協調して取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

高島市補助金等交付規則における概算払・前金払の規定について

問 **生ごみ処理機等の補助にかかるアンケート調査の必要性をどのように考えているか、さらに、廃棄物減量による高島市の経費縮減対当該補助金交付額を算出し、当該補助金が本市の経費縮減に寄与しているかの試算を行っているか。**

答 **環境部長**

当該補助金による生ごみ削減量と、それによるごみ処理経費の削減額については、令和7年度の補助金交付によって1世帯あたりの年間における生ごみ削減量は4．3tとなり、現在委託している可燃ごみ運搬処理等業務委託料に換算すると、年間約17万円削減されたことになります。

これに対し、令和7年度に交付した補助金額は、約99万円でありますことから、費用対効果の面では、補助金の額に見合った経費縮減とはなりませんが、3分の2という高い補助率設定をすることで、生ごみ減量に取り組んでいただける方々を広めていきたいと考えています。

問 **今までの補助金交付対象者全員に、生ごみ処理機、コンポストの現在の保有状況や使用状況、使用頻度等を確認すべきかと思うがどうか。**

答 **環境部長**

過去に補助金を交付した方々全員に対して、継続してアンケートを行うことは必要だと考えています。なお、実施時期や内容は、今後の施策に効果的に反映できるよう検討していきたいと考えています。

問 **滋賀県が実施するサーキュラーエコノミー実証事業（リペアチャレンジ）に参加する考えはあるか。**